位　置
東　経　１３０度３７分２９秒
北　緯　　３３度２２分０８秒

面　積　２２．８３Km²

海　抜　１２．６m

人　口　１５，６２３人
（平成１７年９月末の住民基本台帳より）

世帯数　４，３８７戸
（平成１７年９月末の住民基本台帳より）

交通アクセス

●福岡市内から…
自動車で（福岡都市高速、九州自動車道・筑後小郡IC利用）約50分
電車で（西鉄大牟田線・久留米駅下車、西鉄甘木線乗り換え大堰駅下車）約60分

●久留米市内から…
車で約30分
電車で（西鉄甘木線・大堰駅下車）約30分

●日田市から…
自動車で（大分自動車道・甘木IC利用）約30分

●佐賀市から…
自動車で（長崎自動車道・筑後小郡IC利用）約50分

●熊本市から…
自動車で（九州自動車道・久留米IC利用）約60分

位置と地勢

大刀洗町は、福岡県の中南域を占める筑後平野の北東部、筑後川の中流域北岸に位置します。東西8．0㎞、南北6．5㎞、総面積22．83 で、東は甘木市、南は久留米市（旧田主丸町・北野町）、西は小郡市、北は小郡市と筑前町（旧三輪町）に隣接しています。

町の南部は、日本の三大河川のひとつである筑紫次郎こと「筑後川」が東西に緩やかに流れており、沖積層の肥沃な農地と豊かな恵みが与えられています。北部は、洪積層の酸性土壌で、植木や芝の産地となっています。

周辺の市町村とは、大分自動車道や国道322号・500号、主要地方道久留米筑紫野線の他10路線の県道によって結ばれています。

今村カトリック教会の遠景

大刀洗公園の桜

菊池武光像

歴史と沿革

大刀洗村（高樋・上高橋・今・鵜木・下高橋・山隈の6カ村）となりました。

昔から、御井郡（久留米市（東部及び西部の一部を除く）、久留米市北野町、小郡市南部）、御原郡（大刀洗町、小郡市（南部を除く））は、水利に乏しく干ばつに襲われることがしばしばでした。これを解決するため正徳2年（1712年）に庄屋高山六右衛門は久留米藩の許可を得て、草野又六の協力を受け筑後川の堰き止め工事に着工し、八十数日後に堰が完成しました。これが大堰村の名の起こりといわれます。

旧本郷村は、藩政当時の宿駅で一小市街をなし、著名であったので村名にしたといわれます。

旧大刀洗村は正平15年（1359年）、菊池武光が小弐頼尚と大原合戦で交戦し、朝来の血刀を山隈原を貫流している小川で洗えば、刃はのこぎりの様にこぼれ、川の水は朱に染まった。現大刀洗の地名はこうして生まれました。

菊池の地名も、菊池武光にちなんだものです。菊池一族が一致団結して、戦国の世を南朝一途に誠忠を貫き通した精神が共感を呼んだのでしょう。

昭和30年（1955年）3月31日、町村合併促進法により、大堰村・本郷村・大刀洗村の三カ村が合併し大刀洗町が誕生しました。

大刀洗町は、旧藩時代、久留米藩に属し、明治4年（1871年）廃藩置県により久留米県より三潴県に、明治9年（1876年）三潴県を廃して福岡県となりました。明治22年（1889年）町村制改革により大堰村（冨多・菅野・三川・西原・守部・中川の6カ村）、本郷村（本郷・甲条・春日・栄田の4カ村）、